

FutureNet CMS-1300
ユーザーズガイド (テナント編)
Ver.2.1.0 対応版



1.	はじめに	5
1.1.	用語	5
2.	ログイン (およびログアウト)	6
2.1.	ログイン	6
2.1.1.	ログイン失敗	7
2.2.	ログアウト	8
3.	画面仕様	9
3.1.	テナント	9
3.1.1.	テナント情報	9
3.1.1.1.	テナント情報	9
3.1.2.	製品名設定	10
3.1.2.1.	製品名追加	10
3.1.2.2.	製品名削除	11
3.1.3.	ファームウェア登録	12
3.1.3.1.	ファームウェアインポート	12
3.1.3.2.	ファームウェア削除	13
3.1.4.	データファイルタイプ	14
3.1.4.1.	データファイルタイプ (追加)	14
3.1.4.2.	データファイルタイプ (変更)	15
3.1.4.3.	データファイルタイプ (削除)	15
3.1.5.	製品データ登録	16
3.1.5.1.	製品データ登録 (インポート)	16
3.1.5.2.	製品データ登録 (削除)	17
3.1.6.	グループ	18
3.1.6.1.	グループの追加	18
3.1.6.2.	グループの編集 (基本情報)	19
3.1.6.3.	グループの編集 (所属機器一覧)	20
3.1.6.4.	グループの削除	21
3.1.7.	HTTP 設定	22
3.1.7.1.	HTTP 設定	22
3.1.7.2.	認証情報	23
3.1.7.2.1.	認証情報 (追加)	23
3.1.7.2.2.	認証情報 (削除)	23
3.1.8.	スケジュール	24
3.1.8.1.	スケジュールの追加	25
3.1.8.2.	スケジュールの編集	26
3.1.8.3.	スケジュールの削除	27
3.1.9.	メール設定	28
3.1.9.1.	SMTP 設定	28
3.1.9.1.1.	SMTP 設定 (追加)	29
3.1.9.1.2.	SMTP 設定 (変更)	30
3.1.9.1.3.	SMTP 設定 (削除)	31
3.1.9.2.	メールアドレス	32
3.1.9.2.1.	メールアドレス (追加)	32
3.1.9.2.2.	メールアドレス (変更)	33
3.1.9.2.3.	メールアドレス (削除)	33
3.1.9.3.	共通設定	34
3.1.10.	イベント	35
3.1.10.1.	イベントトリガー	35

3.1.10.1.1.	イベントトリガー (追加)	35
3.1.10.1.2.	イベントトリガー (変更)	36
3.1.10.1.3.	イベントトリガー (削除)	36
3.1.10.2.	イベントアクション	37
3.1.10.2.1.	イベントアクション (追加)	37
3.1.10.2.2.	イベントアクション (変更)	37
3.1.10.2.3.	イベントアクション (削除)	38
3.1.10.3.	イベント定義	39
3.1.10.3.1.	イベント定義 (追加)	39
3.1.10.3.2.	イベント定義 (変更)	40
3.1.10.3.3.	イベント定義 (削除)	40
3.1.11.	テナントデータ	41
3.1.11.1.	テナントデータの退避	41
3.1.11.2.	テナントデータの復帰	42
3.1.11.3.	テナントデータのダウンロード	43
3.1.11.4.	テナントデータのアップロード	43
3.2.	機器一覧	44
3.2.1.	機器一覧表示設定	45
3.2.2.	コンフィグ一括登録	46
3.2.3.	機器リストインポート	48
3.2.3.1.	機器リストファイル	49
3.2.4.	ダウンロード	53
3.2.5.	機器の追加	54
3.2.6.	選択機器動作	55
3.2.6.1.	グループ参加	55
3.2.6.2.	機器削除	56
3.2.7.	機器詳細情報	57
3.2.7.1.	基本情報	57
3.2.7.2.	グループ	58
3.2.7.2.1.	グループ参加	58
3.2.7.2.2.	参加グループ一覧	58
3.2.7.3.	コンフィグ	59
3.2.7.3.1.	コンフィグのインポート	60
3.2.7.3.2.	コンフィグのダウンロード	60
3.2.7.3.3.	コンフィグの削除	61
3.2.7.3.4.	コンフィグのデフォルト指定	61
3.2.7.4.	ファームウェア	62
3.2.7.4.1.	ファームウェアのデフォルト指定	62
3.2.7.5.	機器データ	63
3.2.7.5.1.	機器データのインポート	63
3.2.7.5.2.	機器データの削除	64
3.2.7.5.3.	機器データのデフォルト指定	64
3.2.7.6.	製品データ	65
3.2.7.6.1.	製品データのデフォルト指定	65
3.2.7.7.	SYSLOG	66
3.2.7.8.	監視情報	67
3.2.7.9.	拡張情報	68
3.3.	ログ	69
3.3.1.	検索	69
3.3.2.	ダウンロード	70

3.4. アカウント	71
3.4.1. アカウント情報.....	71
3.4.2. ログインパスワード変更.....	71
4. Appendix.....	72
4.1. サポートについて	72
4.2. イベントログ一覧.....	73

1. はじめに

本書は、FutureNet CMS-1300 のユーザーズガイド(テナント編)です。

1.1. 用語

本書で使用する用語です。

CMS	FutureNet CMS-1300
管理対象機器	FutureNet NXR シリーズ等

2. ログイン（およびログアウト）

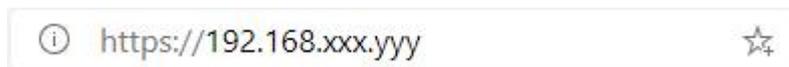
本装置へのログイン（および本装置からのログアウト）方法について示します。

2.1. ログイン

PCのWebブラウザを開いて、CMSのIPアドレス（またはFQDN）をアドレスバーに入力します。

※ CMSのIPアドレス（またはFQDN）は、システム管理者に確認してください。

- IPアドレスの場合



A screenshot of a web browser's address bar. The text "https://192.168.xxx.yyy" is entered. To the left of the text is an information icon (i), and to the right is a star icon for bookmarks.

- FQDNの場合



A screenshot of a web browser's address bar. The text "https://cms1300.example.jp" is entered. To the left of the text is an information icon (i), and to the right is a star icon for bookmarks.

アカウントとパスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。

※ アカウントとパスワードは、システム管理者に確認してください。



A screenshot of the login page for CMS-1300 version 2.1.0. The page title is "CMS-1300 version 2.1.0". There are two input fields: "アカウント" (Account) with the value "centurysys" and "パスワード" (Password) with masked characters ".....". A "ログイン" (Login) button is located at the bottom right. At the bottom of the page, it says "Copyright(C) 2020 Century Systems Co., Ltd. All rights reserved."

ログインに成功すると、以下のような画面が表示されます。

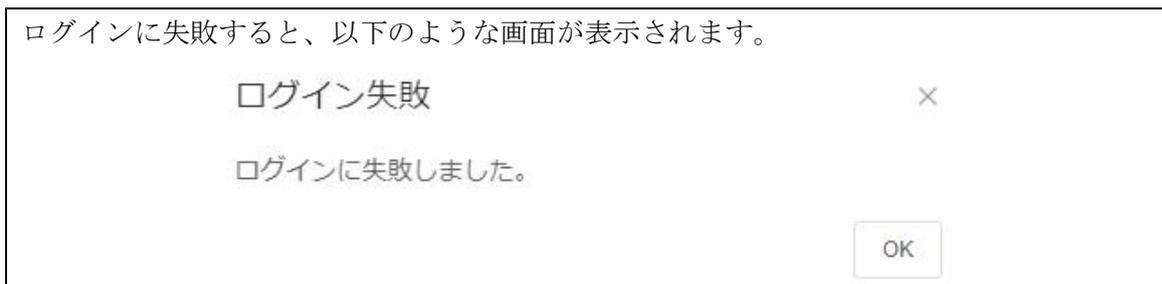


A screenshot of the FutureNet CMS-1300 Central Management Server dashboard. The page title is "FutureNet CMS-1300 Central Management Server". The user is logged in as "アカウント:centurysys". The dashboard has a navigation menu with "システム", "テナント", "機器一覧", "ログ", and "アカウント". The "機器一覧" (Device List) section is active, showing a table with columns for "合計", "○", "+", "-", and "||". Below the table, there are buttons for "コンフィグ一括管理", "機器リストインポート", "ダウンロード", "機器の追加", and "選択機器動作". The table is currently empty, displaying "データなし" (No data).

以上で、本装置へのログインは完了です。

2.1.1. ログイン失敗

ログインに失敗すると、以下のような画面が表示されます。



- ログイン失敗時のメッセージと、原因および対応方法について示します。

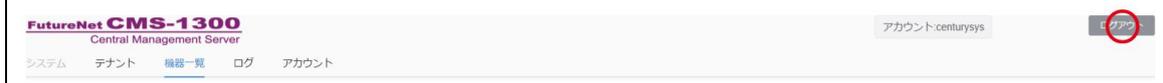
メッセージ	ログインに失敗しました。
原因および対応方法	アカウントが存在しない、またはアカウントに対するパスワードが間違っている場合に表示されます。 アカウント、またはアカウントに対するパスワードを確認してください。

メッセージ	すでにログインしているユーザがいます。
原因および対応方法	アカウントに対するセッションが、すでに開始されています。 すでにログインしているアカウントがないか確認してください。 同じアカウントで、二重ログインすることは出来ません。 ブラウザを閉じて終了した場合は、しばらく（60 秒以上）待つてからログインしてください。

メッセージ	バージョンが一致していません。 ブラウザを閉じるか、再読み込みしてください。
原因および対応方法	ブラウザを閉じるか、再読み込みしてください。

2.2. ログアウト

ログアウトするには、「ログアウト」をクリックします。



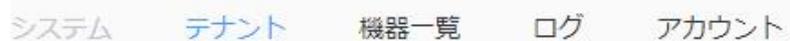
- ※ ブラウザを閉じて終了した場合、一定時間ログイン出来なくなります。
しばらく（60 秒以上）待ってから、ログインしてください。

3. 画面仕様

本装置の画面仕様について説明します。

3.1. テナント

メインタブで、「テナント」を選択します。



※ テナントアカウントでは、「システム」を選択することは出来ません。「システム」を選択するには、admin アカウントが必要です。

3.1.1. テナント情報

「テナント情報」を選択すると表示されます。



製品名設定

ファームウェア登録

データファイルタイプ

製品データ登録

グループ

HTTP設定

スケジュール

テナント情報

テナント情報

テナント名： Century Systems Co., Ltd.

テナントコード： century

3.1.1.1. テナント情報

テナント情報が表示されます。

テナント情報

テナント名： Century Systems Co., Ltd.

テナントコード： century

3.1.2. 製品名設定

「製品名設定」を選択すると表示されます。



3.1.2.1. 製品名追加

「追加」をクリックします。

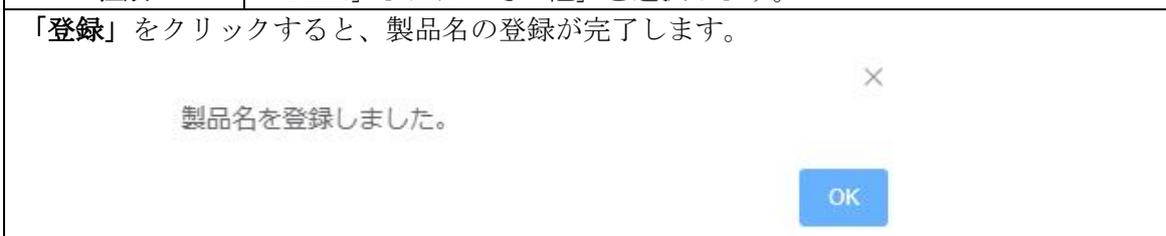


以下の画面が表示されます。



製品名	製品名を入力します。 ※ 管理対象機器に応じて、適切な製品名を設定してください。
種別	「NXR」または「その他」を選択します。

「登録」をクリックすると、製品名の登録が完了します。



3.1.2.2. 製品名削除

当該製品の「削除」をクリックします。

製品名	種別	
nxr100	NXR	
nxrg110	NXR	

以下の画面が表示されます。

製品名[nxrg110]を削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、製品名を削除します。

製品名を削除しました。

OK

3.1.3. ファームウェア登録

「ファームウェア登録」を選択すると表示されます。

登録日時	製品名	ラベル	バージョン	SHA1	備考
2020-11-18 18:34:04	nxrg110	v210705	21.7.5	55f5402c2e9a898ff4e4e4080e7849d b801ec86	

3.1.3.1. ファームウェアインポート

「インポート」をクリックします。

以下の画面が表示されます。

ファイル	「ファイルを選択」をクリックして、ファームウェアを指定します。
製品名	プルダウンから「製品名」を選択します。
ラベル	ラベルを入力します。
バージョン	バージョンを入力します。
備考	備考を入力します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、ファームウェアを登録します。	

3.1.3.2. ファームウェア削除

当該ファームウェアの「削除」をクリックします。

登録日時	製品名	ラベル	バージョン	SHA1	備考	
2020-11-18 18:34:04	nxrg110	v210705	21.7.5	55f55402c2e9a898ff4e4e4080e7849db801ec86		
2020-11-18 18:42:38	nxrg100	g100-v062302	6.23.2	618e055097bbc26c0ccf828026da222c22aa74d		

以下の画面が表示されます。

ファームウェア[nxrg100:g100-v062302]を削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、ファームウェアを削除します。

ファームウェアを削除しました。

OK

3.1.4. データファイルタイプ

「データファイルタイプ」を選択すると表示されます。



3.1.4.1. データファイルタイプ（追加）

「追加」をクリックします。



以下の画面が表示されます。

データファイルタイプ（追加）

* データファイルタイプ名:

* 種別: 製品 機器

* メディアタイプ:

* フォーマット: 圧縮あり 圧縮なし

データファイルタイプ名	データファイルタイプ名を入力します。
種別	「製品」または「機器」を選択します。
メディアタイプ	メディアタイプを入力します。
フォーマット	「圧縮あり」または「圧縮なし」を選択します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、データファイルタイプを登録します。	

3.1.4.2. データファイルタイプ (変更)

当該データファイルタイプの「変更」をクリックします。

データファイルタイプ名	種別	メディアタイプ	フォーマット		
device1	機器	application/octet-stream	圧縮あり	🔄	🗑️
product1	製品	application/octet-stream	圧縮あり	🔄	🗑️
test	製品	application/octet-stream	圧縮あり	🔄	🗑️

以下の画面が表示されます。

データファイルタイプ (変更)

* データファイルタイプ名:

* 種別: 製品 機器

* メディアタイプ:

* フォーマット: 圧縮あり 圧縮なし

メディアタイプ メディアタイプを変更します。

「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。

「登録」をクリックすると、データファイルタイプを登録します。

3.1.4.3. データファイルタイプ (削除)

当該データファイルタイプの「削除」をクリックします。

データファイルタイプ名	種別	メディアタイプ	フォーマット		
device1	機器	application/octet-stream	圧縮あり	🔄	🗑️
product1	製品	application/octet-stream	圧縮あり	🔄	🗑️
test	製品	application/octet-stream	圧縮あり	🔄	🗑️

以下の画面が表示されます。

データファイルタイプ[test]を削除しますか?

「OK」をクリックすると、データファイルタイプを削除します。

データファイルタイプを削除しました。

3.1.5. 製品データ登録

「製品データ登録」を選択すると表示されます。



3.1.5.1. 製品データ登録（インポート）

「インポート」をクリックします。



以下の画面が表示されます。



ファイル	「ファイルを選択」をクリックして、ファイルを選択します。
製品名	プルダウンから、製品名を選択します。
データファイルタイプ名	プルダウンから、データファイルタイプ名を選択します。
ラベル	ラベルを入力します。
バージョン	バージョンを入力します。
備考	備考を入力します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、製品データを登録します。	

3.1.5.2. 製品データ登録（削除）

当該データファイルタイプの「削除」をクリックします。

登録日時	製品名	データファイルタイプ名	ラベル	バージョン	備考	
2020-11-09 14:13:04	nxrg100	product1	nxrg100-data	v6.23.2		
2020-11-09 14:20:07	nxrg100	product1	test	test		

以下の画面が表示されます。

製品データ[nxrg100:test]を削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、製品データを削除します。

製品データを削除しました。

OK

3.1.6. グループ

「グループ」を選択すると表示されます。



3.1.6.1. グループの追加

「グループの追加」をクリックします。



以下の画面が表示されます。



テナントコード	当該テナントのテナントコードが表示されます。
グループ名	グループ名を入力します。
備考	備考を入力します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、グループを追加します。	

3.1.6.2. グループの編集（基本情報）

当該グループの「編集」をクリックします。

グループ名	備考		
nxr			
sales_group	sales department		

以下の画面で「基本情報」を選択します。

グループ情報 ×

基本情報 所属機器一覧

グループ名: sales_group

備考: sales department

基本情報

グループ名	グループ名が表示されます。
備考	備考を編集します。
「変更」をクリックすると、編集内容を本装置に登録します。	
「キャンセル」をクリックすると、編集をキャンセルします。	

3.1.6.3. グループの編集（所属機器一覧）

グループ名	備考		
nrx			
sales_group	sales department		

- ① 当該グループの「編集」をクリックします。
- ② 「所属機器一覧」を選択します。
- ③ 「削除」をクリックすると、当該機器がグループから離脱します。

基本情報 **所属機器一覧**

グループ所属機器一覧

機器コード	名称	<input type="checkbox"/>	
nrx01		<input type="checkbox"/>	
nrx02		<input type="checkbox"/>	
nrx03		<input type="checkbox"/>	

選択機器動作

- ① 当該グループの「編集」をクリックします。
- ② 「所属機器一覧」を選択します。
- ③ グループから離脱する機器を選択します（複数選択することが出来ます）。
- ④ 「グループから離脱」を実行すると、当該機器がグループから離脱します。

基本情報 **所属機器一覧**

グループ所属機器一覧

機器コード	名称	<input type="checkbox"/>	
nrx01		<input checked="" type="checkbox"/>	
nrx02		<input checked="" type="checkbox"/>	
nrx03		<input type="checkbox"/>	

選択

グループから離脱

3.1.6.4. グループの削除

当該グループの「削除」をクリックします。

グループ名	備考		
nxr		↶	🗑
sales_group	sales department	↶	🗑

以下の画面が表示されます。

グループ[sales_group]を削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、グループを削除します。

グループを削除しました。

OK

3.1.7. HTTP 設定

「HTTP 設定」を選択すると表示されます。



3.1.7.1. HTTP 設定

「HTTP 設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。



HTTP アクセス設定
HTTPS

認証

HTTPS アクセス時の認証について、「必要」 / 「不要」を選択します。

「変更」をクリックすると、変更内容を保存します。

3.1.7.2. 認証情報

「認証情報」を選択すると、以下の画面が表示されます。

書き込み権限	トークン	
あり	9c2a93031c2878d70838685d87fc0051ace88002	削除
なし	1b50ed98b52b9c5fdb2878a263c1e3e751bd9562	削除

3.1.7.2.1. 認証情報（追加）

「追加」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

書き込み権限： あり なし

キャンセル 登録

書き込み権限	「あり」／「なし」を選択します。
「キャンセル」をクリックすると、認証情報の追加をキャンセルします。	
「登録」をクリックすると、認証情報を（追加）登録します。	

3.1.7.2.2. 認証情報（削除）

当該認証情報の「削除」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

認証情報を削除しますか？

キャンセル OK

「OK」をクリックすると、当該認証情報を削除します。

3.1.8. スケジュール

「スケジュール」を選択すると表示されます。

The screenshot displays a web interface for managing schedules. The top navigation bar includes 'システム', 'テナント', '機器一覧', 'ログ', and 'アカウント'. The left sidebar lists various settings, with 'スケジュール' highlighted and circled in red. The main content area is titled 'スケジュール' and contains a table with the following columns: 'スケジュール', 'コマンド', 'ラベル', 'グループ', '実行日時', and '備考'. A 'スケジュールの追加' button is located in the top right corner of the table area. The table currently shows no data, with the text 'データなし' (No data) centered below the column headers.

3.1.8.1. スケジュールの追加

スケジュールの追加

「スケジュールの追加」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

スケジュール (追加) ×

* コマンド:

* ラベル:

グループ:

周期実行設定: 1回限り 繰り返し

実行日時

月: 日:

曜日:

時: *分:

備考:

コマンド	プルダウンから、コマンドを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● デフォルトファームウェア更新 ● デフォルトコンフィグ更新 ● デフォルトデータファイル更新 	
ラベル	ラベルを入力します。	
グループ	グループを選択します。	
周期実行設定	1回限り / 繰り返し を選択します。	
実行日時	月	プルダウンから、月を選択します。 指定なし 、または 1~12 のいずれかを選択します。
	日	プルダウンから、日を選択します。 指定なし 、または 1~31 のいずれかを選択します。
	曜日	プルダウンから、曜日を選択します。 指定なし 、平日 (月~金)、または日~土のいずれかを選択します。
	時	プルダウンから、時を選択します。 指定なし 、または 0~23 のいずれかを選択します。
	分	プルダウンから、分を選択します。 0~59 のいずれかを選択します。
備考	備考を入力します。	
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。		
「登録」をクリックすると、スケジュールを登録します。		

3.1.8.2. スケジュールの編集

「編集」をクリックします。

スケジュール	コマンド	ラベル	グループ	前回実行日時	備考
12月31日 23時59分	デフォルトファームウェア更新	nrx530-v210601	sof2	未実行	

以下の画面が表示されます。

スケジュール (変更) ×

* コマンド:

* ラベル:

グループ:

周期実行設定: 1回限り 繰り返し

実行日時

月: 日:

曜日:

時: 分:

備考:

コマンド	<p>プルダウンから、コマンドを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルトファームウェア更新 デフォルトコンフィグ更新 デフォルトデータファイル更新 	
ラベル	ラベルを変更します。	
グループ	グループを選択します。	
周期実行設定	1回限り／繰り返しを選択します。	
実行日時	月	プルダウンから、月を選択します。 指定なし、または1～12のいずれかを選択します。
	日	プルダウンから、日を選択します。 指定なし、または1～31のいずれかを選択します。
	曜日	プルダウンから、曜日を選択します。 指定なし、平日(月～金)、または日～土のいずれかを選択します。
	時	プルダウンから、時を選択します。 指定なし、または0～23のいずれかを選択します。
	分	プルダウンから、分を選択します。 0～59のいずれかを選択します。
備考	備考を変更します。	
「キャンセル」をクリックすると、変更内容を破棄します。		
「登録」をクリックすると、スケジュールを変更します。		

3.1.8.3. スケジュールの削除

「削除」をクリックします。

スケジュール	コマンド	ラベル	グループ	前回実行日時	備考	
12月31日 23時59分	デフォルトファーム ウェア更新	nrx530-v210601	sof2	未実行		<input type="button" value="2"/> <input type="button" value="削除"/>

以下の画面が表示されます。

スケジュールを削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、当該スケジュールを削除します。

3.1.9. メール設定

「メール設定」を選択すると表示されます。



システム テナント 機器一覧 ログ アカウント

メール設定

フォームウェア登録

データファイルタイプ

製品データ登録

グループ

HTTP設定

スケジュール

メール設定

イベント

テナントデータ

SMTP設定 メールアドレス 共通設定

ID	設定名	SMTPサーバ名
1	testmail	smtp.example.com

追加

選択動作

削除 戻る

3.1.9.1. SMTP 設定

「SMTP 設定」を選択すると表示されます。



SMTP設定 メールアドレス 共通設定

ID	設定名	SMTPサーバ名
1	testmail	smtp.example.com

追加

選択動作

削除 戻る

3.1.9.1.1. SMTP 設定 (追加)

「追加」をクリックします。

The screenshot shows a web interface for SMTP settings. At the top, there are tabs for 'SMTP設定', 'メールアドレス', and '共通設定'. On the right side, there is a red '追加' (Add) button and a '選択動作' dropdown menu. Below this is a table with the following content:

#	設定名	SMTPサーバ名
1	testmail	smtp.example.com

At the bottom right of the table area, there are '戻る' (Back) and '削除' (Delete) buttons.

以下の画面が表示されます。

The screenshot shows a modal window titled 'SMTP設定' with a close button (X) in the top right corner. The form contains the following fields:

- * 設定名:
- * SMTPサーバ名:
- * SMTPサーバポート: (with '-' and '+' buttons)
- * 送信元表示名:
- * 送信元メールアドレス:

Below these fields is a horizontal line, followed by:

- 認証方式: (with a dropdown arrow)
- * ユーザ名:
- * パスワード:

At the bottom right, there are 'キャンセル' (Cancel) and '登録' (Register) buttons.

設定名	設定名を入力します。
SMTP サーバ名	SMTP サーバ名を入力します。
SMTP サーバポート	SMTP サーバポートを指定します。
送信元表示名	送信元表示名を入力します。
送信元メールアドレス	送信元メールアドレスを入力します。
認証方式	プルダウンから、認証方式を選択します。
ユーザ名	ユーザ名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、SMTP 設定を登録します。	

3.1.9.1.2. SMTP 設定 (変更)

「変更」をクリックします。

id	設定名	SMTPサーバ名	
1	testmail	smtp.example.com	 

以下の画面が表示されます。

SMTP設定 ×

* 設定名:

* SMTPサーバ名:

* SMTPサーバポート: - +

* 送信元表示名:

* 送信元メールアドレス:

認証方式: ▼

* ユーザ名:

* パスワード:

キャンセル
登録

必要に応じて、以下の設定内容を変更します。

設定名	設定名が表示されます。
SMTP サーバ名	SMTP サーバ名を変更します。
SMTP サーバポート	SMTP サーバポートを変更します。
送信元表示名	送信元表示名を変更します。
送信元メールアドレス	送信元メールアドレスを変更します。
認証方式	プルダウンから、認証方式を選択します。
ユーザ名	ユーザ名を変更します。
パスワード	パスワードを変更します。
「キャンセル」をクリックすると、変更内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、SMTP 設定を変更します。	

3.1.9.1.3. SMTP 設定 (削除)

当該設定の「削除」をクリックします。

※	設定名	SMTPサーバ名	
1	testmail	smtp.example.com	 

以下の画面が表示されます。

SMTP設定[testmail]を削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、当該 SMTP 設定を削除します。

3.1.9.2. メールアドレス

「メールアドレス」を選択すると表示されます。

名称	メールアドレス
Mymail	mymail@testmail.example.co.jp

3.1.9.2.1. メールアドレス (追加)

「追加」をクリックします。

名称	メールアドレス
Mymail	mymail@testmail.example.co.jp

以下の画面が表示されます。

メールアドレス設定

* 名称: Mymail

* メールアドレス: mymail@testmail.example.co.jp

キャンセル 登録

名称	名称を入力します。
メールアドレス	メールアドレスを入力します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、メールアドレス設定を登録します。	

3.1.9.2.2. メールアドレス（変更）

「変更」をクリックします。

名称	メールアドレス	
Mymail	mymail@testmail.example.co.jp	 

以下の画面が表示されます。

メールアドレス設定 ×

* 名称:

* メールアドレス:

必要に応じて、以下の内容を変更します。

名称	名称が表示されます。
メールアドレス	メールアドレスを変更します。
「キャンセル」をクリックすると、変更内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、変更内容を登録します。	

3.1.9.2.3. メールアドレス（削除）

「削除」をクリックします。

名称	メールアドレス	
Mymail	mymail@testmail.example.co.jp	 

以下の画面が表示されます。

メールアドレス[Mymail]を削除しますか？

「OK」をクリックすると、当該メールアドレスを削除します。

3.1.9.3. 共通設定

「共通設定」を選択すると表示されます。

Screenshot of the '共通設定' (Common Settings) page. The page shows the following configuration:

- Tab: 共通設定 (highlighted with a red circle)
- * メールタイトル: Alert from CMS-1300
- * 最少通知間隔 (秒): 60
- 変更 (Change) button

メールタイトル	メールタイトルを入力します。
最小通知間隔 (秒)	最小通知間隔を指定します。
「変更」をクリックすると、入力内容を設定します。	

3.1.10. イベント

「イベント」を選択すると表示されます。



3.1.10.1. イベントトリガー

「イベントトリガー」を選択すると表示されます。



3.1.10.1.1. イベントトリガー (追加)

「追加」をクリックします。



以下の画面が表示されます。

イベントトリガー設定

* 名称: HTTPNONOFF

* グループ名: sales_group

キャンセル 登録

名称	名称を入力します。
グループ名	プルダウンから、グループ名を選択します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、イベントトリガー設定を登録します。	

3.1.10.1.2. イベントトリガー（変更）

「変更」をクリックします。

名称 ⇅	グループ名 ⇅	
HTTPONOFF	sales_group	 

以下の画面が表示されます。

イベントトリガー設定 ×

* 名称:

* グループ名: ▼

必要に応じて、内容を変更します。

名称	名称が表示されます。
グループ名	プルダウンから、グループ名を選択します。
「キャンセル」をクリックすると、変更内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、変更内容を登録します。	

3.1.10.1.3. イベントトリガー（削除）

「削除」をクリックします。

名称 ⇅	グループ名 ⇅	
HTTPONOFF	sales_group	 

以下の画面が表示されます。

イベントトリガー[HTTPONOFF]を削除しますか？ ×

「OK」をクリックすると、当該イベントトリガーを削除します。

3.1.10.2. イベントアクション

「イベントアクション」を選択すると表示されます。

名称	メールアドレス
MAILTO	mymail

3.1.10.2.1. イベントアクション（追加）

「追加」をクリックします。

名称	メールアドレス
----	---------

以下の画面が表示されます。

イベントアクション設定

* 名称: MAILTO

* メールアドレス: mymail

キャンセル 登録

名称	名称を入力します。
メールアドレス	プルダウンから、メールアドレスを選択します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、イベントアクション設定を登録します。	

3.1.10.2.2. イベントアクション（変更）

「変更」をクリックします。

名称	メールアドレス
MAILTO	mymail

以下の画面が表示されます。

イベントアクション設定

* 名称: MAILTO

* メールアドレス: mymail

キャンセル 登録

名称	名称が表示されます。
メールアドレス	プルダウンから、メールアドレスを選択します。
「キャンセル」をクリックすると、変更内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、変更内容を登録します。	

3.1.10.2.3. イベントアクション (削除)

「削除」をクリックします。

名称	メールアドレス	
MAILTO	mymail	<input type="button" value="削除"/>

以下の画面が表示されます。

イベントアクション[MAILTO]を削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、当該イベントアクションを削除します。

3.1.10.3. イベント定義

「イベント定義」を選択すると表示されます。

名前	イベントトリガー	イベントアクション
MAILTO_TriggeredBy_HTTPONOFF	HTTPONOFF	MAILTO

3.1.10.3.1. イベント定義（追加）

「追加」をクリックします。

名前	イベントトリガー	イベントアクション
----	----------	-----------

以下の画面が表示されます。

イベント定義設定

* 名称: MAILTO_by_HTTPONOFF

* イベントトリガー: HTTPONOFF

* イベントアクション: MAILTO

キャンセル 登録

名称	名称を入力します。
イベントトリガー	プルダウンから、イベントトリガーを選択します。
イベントアクション	プルダウンから、イベントアクションを選択します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、イベント定義設定を登録します。	

3.1.10.3.2. イベント定義（変更）

「変更」をクリックします。

名称	イベントトリガー	イベントアクション
MAILTO_by_HTTPONOFF	HTTPONOFF	MAILTO

以下の画面が表示されます。

イベント定義設定

* 名称:

* イベントトリガー:

* イベントアクション:

名称	名称が表示されます。
イベントトリガー	プルダウンから、イベントトリガーを選択します。
イベントアクション	プルダウンから、イベントアクションを選択します。
「キャンセル」をクリックすると、変更内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、変更内容を登録します。	

3.1.10.3.3. イベント定義（削除）

「削除」をクリックします。

名称	イベントトリガー	イベントアクション
MAILTO_by_HTTPONOFF	HTTPONOFF	MAILTO

以下の画面が表示されます。

イベント定義[MAILTO_by_HTTPONOFF]を削除しますか？

「OK」をクリックすると、当該イベント定義を削除します。

3.1.11. テナントデータ

CMS に設定・登録した当該テナントに関するデータ（テナントデータ）を、退避・復帰・ダウンロード・アップロードすることが可能です。テナントデータにログファイル等は含まれません。



3.1.11.1. テナントデータの退避



3.1.11.2. テナントデータの復帰

テナントデータの退避と復帰

本体HDDストレージ：

「復帰」をクリックします。

テナントデータを本体HDDから復帰しますか？

「OK」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

復帰するテナントデータの内容は以下のとおりです。
間違いなければ[OK]を押してデータ復帰を開始してください。

テナントコード：century
バックアップ日時：Fri Jul 17 2020 19:16:17 GMT+0900
(日本標準時)
機器数：0

「OK」をクリックすると、テナントデータの復帰を開始します。

テナントデータの復帰を開始しました。

「OK」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

テナントデータの復帰を開始したためログアウトしました。
しばらくしてから再度ログインしてください。

3.1.11.3. テナントデータのダウンロード

テナントデータの退避と復帰

本体HDDストレージ: 退避 復帰 ダウンロード アップロード

① 「ダウンロード」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

本体HDDのテナントデータをダウンロードしますか？

キャンセル OK

「OK」をクリックすると、テナントデータを PC にダウンロードします。

3.1.11.4. テナントデータのアップロード

テナントデータの退避と復帰

本体HDDストレージ: 退避 復帰 ダウンロード アップロード

① 「アップロード」をクリックします。

テナントデータのアップロード (HDD) ×

本体HDDのテナントデータへアップロードします。

* ファイル: ファイルを選択 century_config_hdd.dat

キャンセル 登録

ファイル	「ファイルを選択」をクリックして、テナントデータを指定します。
	「キャンセル」をクリックすると、テナントデータのアップロードをキャンセルします。
	「登録」をクリックすると、テナントデータのアップロードを行います。

3.2. 機器一覧

メインタブで、「**機器一覧**」を選択します。



以下の画面が表示されます。

機器一覧表示設定

検索条件 ▼ 検索文字列

合計

合計	○	×	—	
3	1	0	2	0

コンフィグ一括登録 機器リストインポート ダウンロード 機器の追加 選択機器動作

状態	機器コード	製品名	名称	備考	シリアル番号	バージョン	コンフィグ	BMS	リビジョン	電源状態		
○	nxrg01	nxrg100	NXR-G100								<input type="checkbox"/>	と
×	nxrg02	nxrg100	NXR-G100-NXR02	MEMO2							<input type="checkbox"/>	と
○	nxrg05	nxrg110	NXR-110	MEMO	10260003378	21.7.5	0	44010311232753 7	11-25	2	<input type="checkbox"/>	と

① CMS に登録されている機器の状態を表します。

○	正常	CMS への定期的な HTTP 接続が正常に行われている機器
×	異常	CMS への HTTP 接続が一定期間行われていない機器
—	停止	停止している機器
	監視対象外	CMS への定期的な HTTP 接続を行わない機器

② CMS に登録されている機器を一覧表示します。

3.2.1. 機器一覧表示設定

検索条件に一致する機器だけを一覧表示させることが出来る機能です。

機器一覧表示設定

検索条件 検索文字列

① プルダウンから、検索条件（「状態」および「項目」）を選択します。条件は複数選択することが出来ます。

② キーワード入力欄に、検索文字列を入力します。

合計	○	×	-	
4	1	0	3	0

状態	機器コード	製品名	名称	備考	シリアル番号	バージョン	コンフィグ	機器コード	リビジョン	電源状態	
-	nrx01	nrxg100	NXR-G100								
-	nrx02	nrxg100	NXRG100-NXR02	MEMO2							
○	nrx05	nrxg110	NXR-110	MEMO	10260003378	21.7.5	0		11-25	2	
-	test	test	test								

③ 検索ボタンをクリックすると、検索結果が表示されます。

合計	○	×	-	
4	1	0	3	0

状態	機器コード	製品名	名称	備考	シリアル番号	バージョン	コンフィグ	MSI	リビジョン	電源状態	
-	nrx01	nrxg100	NXR-G100								
-	nrx02	nrxg100	NXRG100-NXR02	MEMO2							
○	nrx05	nrxg110	NXR-110	MEMO	10260003378	21.7.5	0	440103112327537	11-25	2	

3.2.2. コンフィグ一括登録

コンフィグ一括登録

「**コンフィグ一括登録**」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

コンフィグ一括登録 ×

変換データ、テンプレートファイル、フォーマットを指定して下さい。

* 変換データ: ファイルを選択 parameters.csv

* テンプレートファイル: ファイルを選択 nxr.config

* フォーマット: xml show-config

キャンセル
登録

変換データ	「 ファイルを選択 」をクリックして、変換データ (CSV ファイル) を指定します。
テンプレートファイル	「 ファイルを選択 」をクリックして、テンプレートファイル (コンフィグファイル) を指定します。
フォーマット	「 xml 」または「 show-config 」を選択します。

「**登録**」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

- 結果が **OK** の場合、コンフィグが登録されます。

一括コンフィグ結果 ×

コンフィグを登録しました。

OK レコード数: 2 NG レコード数: 0 フィルタ初期化

番号	結果	メッセージ	機器コード	ラベル	フォーマット	バージョン	備考
1	OK		nxr01	testconfig01	show-config		
2	OK		nxr02	testconfig02	show-config		

閉じる

- 結果に **NG** がある場合、コンフィグの登録を中止します。

一括コンフィグ結果 ×

NG レコードがあるためコンフィグ登録を中止しました。

OK レコード数: 0 NG レコード数: 2 フィルタ初期化

番号	結果	メッセージ	機器コード	ラベル	フォーマット	バージョン	備考
1	NG	機器に3個のコンフィグが登録済みです。これ以上コンフィグを登録できません。	nxr01	testconfig01	show-config		
2	NG	コンフィグラベルに使用できない文字が含まれています。					

閉じる

- 変換データ (CSV ファイル) の例

```
CMS_NODE_CODE,CMS_CONFIG_LABEL,ADDRESS,HOSTNAME,PASSWORD
nrx01,testconfig,192.168.0.1,nrx01_test,pwd_xxxxxxx
nrx02,testconfig,192.168.0.2,nrx02_test,pwd_yyyyyyy
```

- ※ 第一行は、ヘッダ (固定) です。
- ※ また、第一行の第一列 (CMS_NODE_CODE) と第二列 (CMS_CONFIG_LABEL) は固定です。

- テンプレートファイル (show-config ファイル) の例 (抜粋)

変換対象となる文字列を、`${文字列}` (以下の例の太字部分) のように記載します。

```
hostname ${HOSTNAME}
telnet-server enable
http-server enable
!
password ${PASSWORD}
!
system boot cms basic-information
system configuration-id 1
!
management-server
tenant-code century
node-code ${CMS_NODE_CODE}
http access-interval 600
default authorization / bearer token XXXX7d702343629cfa876568c76d6264a3f8ZZZZ
server A.B.C.D
exit-server
!
interface ethernet 0
ip address 192.168.0.254/24
!
interface ethernet 1
ip address ${ADDRESS}/24
ip spi-filter
!
dns
service enable
address a.b.c.d
!!
syslog
local enable
rotate cms
!
schedule 1 xx:10 * * config copy cms startup-config
schedule 2 yy:20 * * syslog copy cms
!
ip route 0.0.0.0/0 aaa.bbb.ccc.ddd
!
end
```

3.2.3. 機器リストインポート

機器リストインポート ダウンロード 機器の追加 選択機器動作 ▾

「機器リストインポート」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

機器リストインポート

CMSへインポートする機器リストファイルを指定して下さい。

* ファイル: nodelist_century.csv

「ファイルを選択」をクリックして、機器リストファイルを指定します。
「登録」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

機器リストチェック結果

ファイルチェック結果は次のとおりです。

種別: 機器の追加 OK レコード数: 3 NG レコード数: 0

	番号	結果	メッセージ	機器コード	製品名	名称	シリアル番号	備考
>	1	OK		nxr01	nxr530	NXR530	11111111	MEMO1
>	2	OK		nxr02	nxrg110	NXRG110	22222222	MEMO2
>	3	OK		nxr03	nxrg100	NXRG100	33333333	MEMO3

結果が「OK」であることを確認します。
「インポート」をクリックすると、機器リストのインポートを実行します。

3.2.3.1. 機器リストファイル

機能リストインポートでは、以下の操作に対応しています。また、インポートする機器リストファイルは、CSVフォーマットで作成します。

- 機器の追加 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット	
add_node, node_code, product_name, name, serial_number, memo	
add_node	機器を追加するコマンド (固定文字列)
node_code	機器コード
product_name	製品名
name	名称
serial_number	シリアル番号
memo	備考
以下に、nodelist.csv の例を示します。	
add_node, nxr01, nxr530, NXR530, 11111111, MEMO1	
add_node, nxr02, nxrg110, NXRG110, 22222222, MEMO2	
add_node, nxr03, nxrg100, NXRG100, 33333333, MEMO3	

- ※ 一つの CSV ファイルに、異なる操作を指定することは出来ません。
例えば、同一ファイル内に、add_node と set_node を指定することは出来ません。
- ※ 行末にカンマ(,)は使用しないでください。

- 機器の変更 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット	
set_node, node_code, product_name, name, serial_number, memo	
set_node	機器を変更するコマンド (固定文字列)

- 機器の削除 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット	
del_node, node_code	
del_node	機器を削除するコマンド (固定文字列)

- コンフィグの追加 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット (Ver.2.1.0～)	
add_config, node_code, config_label, filename, config_format, version, memo	
CSV フォーマット (Ver.2.0.0)	
add_config, node_code, config_label, memo, filename	
add_config	コンフィグを追加するコマンド (固定文字列)
config_label	コンフィグのラベル
filename	zip 内のファイル名
config_format	コンフィグのフォーマット (xml, tgz, show-config)
version	バージョン情報
<p>nodelist.csv (Ver.2.1.0～) の例です。</p> <p>add_config, nxr01, testconfig, nxr01.config, show-config, ver00, MEMO</p> <p>nodelist.zip の例です。</p> <p>nodelist.csv nxr01.config</p> <p>インポートするには、機器リストインポートの画面で、zip ファイルを指定します。</p>	
	

- コンフィグの削除 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット	
del_config, node_code, config_label	
del_config	コンフィグを削除するコマンド (固定文字列)

- デフォルトコンフィグの設定 (Ver.2.0.0～)

set_default_config, node_code, config_label	
set_default_config	デフォルトコンフィグの設定をするコマンド (固定文字列)

- デフォルトコンフィグの解除 (Ver.2.0.0～)

del_default_config, node_code	
del_default_config	デフォルトコンフィグの設定を解除するコマンド (固定文字列)

- デフォルトファームウェアの設定 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット set_default_firmware, node_code, firmware_label	
set_default_firmware	デフォルトファームウェアを設定するコマンド (固定文字列)
firmware_label	ファームウェアインポート時に指定したラベル

- デフォルトファームウェアの解除 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット del_default_firmware, node_code	
del_default	デフォルトファームウェアの設定を解除するコマンド (固定文字列)

- データファイルの追加 (Ver.2.1.0～)

CSV フォーマット add_datafile, node_code, datafiletype_name, label, filename, version, memo	
add_datafile	データファイルを追加するコマンド (固定文字列)
datafiletype_name	「3.1.4.1 データファイルタイプ (追加)」で設定した「データファイルタイプ名」を指定します。
label	ラベル
version	バージョン

※ 機器データに対応しています。

- データファイルの削除 (Ver.2.1.0～)

CSV フォーマット del_datafile, node_code, datafile_type_name, datafile_label	
del_datafile	データファイルを削除するコマンド (固定文字列)

※ 機器データに対応しています。

- デフォルトデータファイルの設定 (Ver.2.1.0～)

CSV フォーマット set_default_datafile, node_code, datafiletype_name, label	
set_default_datafile	デフォルトデータファイルの設定をするコマンド (固定文字列)

※ 機器データ、製品データに対応しています。

- デフォルトデータファイルの解除 (Ver.2.1.0～)

CSV フォーマット del_default_datafile, node_code, datafile_type_name	
del_default_datafile	デフォルトデータファイルの設定を解除するコマンド (固定文字列)

※ 機器データ、製品データに対応しています。

3.2.4. ダウンロード

機器リストインポート		ダウンロード	機器の追加	選択機器動作 ▾
「ダウンロード」をクリックすると、以下の画面が表示されます。				
ダウンロード ×				
機器リストをダウンロードします。				
* エンコーディング: <input checked="" type="radio"/> UTF-8 <input type="radio"/> UTF-8 (BOM 付き)				
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="実行"/>				
エンコーディング	UTF-8 または UTF-8 (BOM 付き) を選択します。 ※ Microsoft Excel 等を使用する際は、 UTF-8 (BOM 付き) を選択します。			
「実行」をクリックすると、CSV形式で、機器リストをダウンロードすることが出来ます。				

※ ダウンロードの対象となる機器は、一覧表示されている機器です。

※ 一覧表示の詳細については、「3.2.1 機器一覧表示設定」を参照してください。

3.2.5. 機器の追加

機器リストインポート
ダウンロード
機器の追加
選択機器動作 ▾

「機器の追加」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

機器の新規追加 ×

テナントコード： century

* 機器コード：

* 製品名： ▾

名称：

シリアル番号：

備考：

キャンセル 登録

テナントコード	テナントコードが表示されます。
機器コード	機器コードを入力します。
製品名	プルダウンから、製品名を選択します。 ※ 製品名が未登録の場合は、「3.1.2.1 製品名追加」を参照してください。
名称	名称を入力します。
シリアル番号	シリアル番号を入力します。
備考	備考を入力します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、入力内容を登録します。	

3.2.6. 選択機器動作

3.2.6.1. グループ参加

状態	機器コード	製品名	名称	シリアル番号	備考	選択
<input type="radio"/>	nxr01	nxr530				<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	nxr02	nxrg110				<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	nxr03	nxrg100				<input type="checkbox"/>

- ① グループ参加させたい機器を選択します。
- ② 「選択機器動作」から、「グループ参加」を選択します。

以下の画面が表示されます。

グループへの参加 ×

選択した機器数：2

機器コード	名称
nxr01	
nxr02	

* 参加するグループ：

nxr

sales_group

参加するグループ

プルダウンから、機器を参加させるグループを選択します。
※ グループが未登録の場合は、「3.1.6.1 グループの追加」を参照してください。

「参加」をクリックすると、当該機器がグループに参加します。

「キャンセル」をクリックすると、グループへの参加をキャンセルします。

3.2.6.2. 機器削除

状態	機器コード	製品名	名称	シリアル番号	備考		
<input type="radio"/>	nrx01	nrx530				<input checked="" type="checkbox"/>	グループ参加
<input type="radio"/>	nrx02	nrxg110				<input checked="" type="checkbox"/>	機器削除
<input type="radio"/>	nrx03	nrxg100				<input type="checkbox"/>	と

① 削除したい機器を選択します。

② 「選択機器動作」から、「**機器削除**」を選択します。

以下の画面が表示されます。

選択した機器数：2
機器を削除しますか？

「OK」をクリックすると、当該機器を削除します。

3.2.7. 機器詳細情報

当該機器の「編集」をクリックします。

状態	機器コード	製品名	名称	備考	シリアル番号	バージョン	コンフィグ	IMSI	リビジョン	電波状態		
-	nxr01	nxrg100	NXR-G100								<input type="checkbox"/>	と
○	nxr05	nxrg110	NXR-110	MEMO	10260003378	21.7.5	0	440103112327537	11-25		<input type="checkbox"/>	と

以下の画面が表示されます。

機器詳細情報

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア 機器データ 製品データ SYSLOG 監視情報 拡張情報

機器コード: nxr05

製品名: nxrg110

名称: NXR-110

シリアル番号: 1234567890

備考: MEMO

製品名: NXR-G110/L

シリアル番号: 10260003378

バージョン: 21.7.5

ホスト名: nxr05

HTTPアクセス: online

アクセス間隔: 600

更新日時: 2020-11-17T12:29:23Z

startup-config: 0

running-config: 0

IMSI: 440103112327537

ICCID: 8981100042317590028

リビジョン: 11-25

3.2.7.1. 基本情報

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア 機器データ 製品データ SYSLOG 監視情報 拡張情報

「基本情報」を選択すると、以下の画面が表示されます。

機器コード: nxr05 **①**

製品名: nxrg110

名称: NXR-110

シリアル番号: 1234567890

備考: MEMO

製品名: NXR-G110/L **②**

シリアル番号: 10260003378

バージョン: 21.7.5

ホスト名: nxr05

HTTPアクセス: online

アクセス間隔: 600

更新日時: 2020-11-17T12:29:23Z

startup-config: 0

running-config: 0

IMSI: 440103112327537

ICCID: 8981100042317590028

リビジョン: 11-25

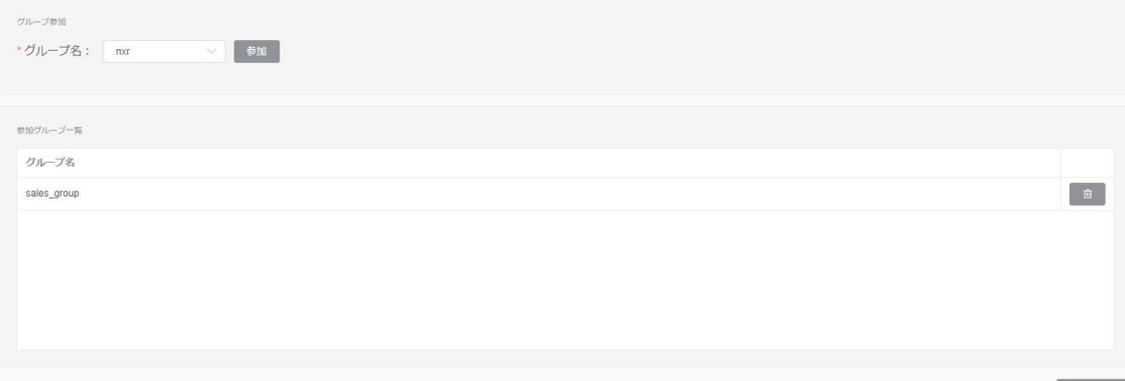
- ① 「機器の追加」で登録した内容が表示されます。
機器コード、製品名は、変更することが出来ません。
名称、シリアル番号、備考は、変更することが出来ます。
「変更」をクリックすると、設定を変更することが出来ます。
入力内容を破棄するには、「キャンセル」をクリックします。

- ② 機器から通知された情報を表示します。

3.2.7.2. グループ

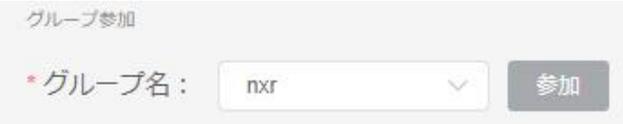
基本情報 **グループ** コンフィグ ファームウェア 機器データ 製品データ SYSLOG 監視情報 拡張情報

「グループ」を選択すると、以下の画面が表示されます。



グループ名	
sales_group	

3.2.7.2.1. グループ参加



グループ名 プルダウンから、グループ名を選択します。

「参加」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

グループ [nrx] へ参加しますか？

「OK」をクリックすると、当該機器がグループに参加します。

3.2.7.2.2. 参加グループ一覧

当該機器が参加しているグループの一覧が表示されます。



グループ名	
nrx	
sales_group	

「削除」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

グループ [nrx] から離脱しますか？

「OK」をクリックすると、当該機器がグループから離脱します。

3.2.7.3. コンフィグ

基本情報 グループ **コンフィグ** ファームウェア 機器データ 製品データ SYSLOG 監視情報 拡張情報

「コンフィグ」を選択すると、以下の画面が表示されます。

コンフィグ

インポート

デフォルト指定	保存日時	ラベル	バージョン	フォーマット	備考	
<input type="checkbox"/>	2020-11-18 17:10:46	testconfig02		show-config		<input type="button" value="±"/> <input type="button" value="目"/>

キャンセル

3.2.7.3.1. コンフィグのインポート

「インポート」をクリックすると、PC から CMS に、コンフィグをインポートすることが出来ます。



以下の画面が表示されます。

コンフィグインポート ×

* ファイル: test.xml

* ラベル:

* フォーマット: xml tgz show-config

バージョン:

備考:

ファイル	「ファイルを選択」をクリックして、インポートするコンフィグを指定します。
ラベル	ラベルを入力します。
フォーマット	フォーマットを選択します。
バージョン	バージョンを入力します。
備考	備考を入力します。

「キャンセル」をクリックすると、コンフィグのインポートをキャンセルします。
「登録」をクリックすると、当該コンフィグを CMS に登録します。

3.2.7.3.2. コンフィグのダウンロード

「ダウンロード」をクリックすると、CMS から PC に、コンフィグをダウンロードすることが出来ます。



以下の画面が表示されます。

×

選択したファイルをダウンロードしますか？

「OK」をクリックすると、当該コンフィグを PC にダウンロードします。

3.2.7.3.3. コンフィグの削除

「削除」をクリックすると、CMS からコンフィグを削除します。

デフォルト指定	保存日時	ラベル	バージョン	フォーマット	備考	
<input type="checkbox"/>	2020-11-18 17:10:46	testconfig02		show-config		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

以下の画面が表示されます。

選択したコンフィグをCMSから削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、当該コンフィグを CMS から削除します。

3.2.7.3.4. コンフィグのデフォルト指定

「デフォルト指定」をチェックすると、当該コンフィグをデフォルトコンフィグとして設定します。

デフォルト指定	保存日時	ラベル	バージョン	フォーマット	備考	
<input checked="" type="checkbox"/>	2020-11-18 17:10:46	testconfig02		show-config		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	2020-11-26 15:14:33	nxrconfig	1.0.0	xml		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

以下の画面が表示されます。

コンフィグのデフォルト指定を選択しました。

OK

「デフォルト指定」のチェックを外すと、デフォルト指定を解除します。

デフォルト指定	保存日時	ラベル	バージョン	フォーマット	備考	
<input checked="" type="checkbox"/>	2020-11-18 17:10:46	testconfig02		show-config		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	2020-11-26 15:14:33	nxrconfig	1.0.0	xml		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

以下の画面が表示されます。

コンフィグのデフォルト指定を解除しました。

OK

3.2.7.4. ファームウェア

基本情報 グループ コンフィグ **ファームウェア** 機器データ 製品データ SYSLOG 監視情報 拡張情報

「ファームウェア」を選択すると、以下の画面が表示されます。
※ ファームウェアが未登録の場合は、「3.1.3 ファームウェア登録」を参照してください。

ファームウェア

デフォルト指定	ラベル	バージョン	備考
<input type="checkbox"/>	v210705	21.7.5	

キャンセル

3.2.7.4.1. ファームウェアのデフォルト指定

「**デフォルト指定**」をチェックすると、当該ファームウェアをデフォルトファームウェアとして設定します。

デフォルト指定	ラベル	バージョン	備考
<input checked="" type="checkbox"/>	v210705	21.7.5	

以下の画面が表示されます。

ファームウェアのデフォルト指定を選択しました。

OK

「**デフォルト指定**」のチェックを外すと、デフォルト指定を解除します。

デフォルト指定	ラベル	バージョン	備考
<input type="checkbox"/>	v210705	21.7.5	

以下の画面が表示されます。

ファームウェアのデフォルト指定を解除しました。

OK

3.2.7.5. 機器データ

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア **機器データ** 製品データ SYSLOG 監視情報 拡張情報

「機器データ」を選択すると、以下の画面が表示されます。

3.2.7.5.1. 機器データのインポート

「インポート」をクリックすると、PC から CMS に、機器データをインポートすることが出来ます。

以下の画面が表示されます。

機器データインポート

* ファイル: nxr05-data.bin

* データファイルタイプ名:

* ラベル:

バージョン:

備考:

ファイル	「ファイルを選択」をクリックして、インポートする機器データを指定します。
データファイルタイプ名	プルダウンから、データファイルタイプ名を選択します。
バージョン	バージョンを入力します。
備考	備考を入力します。
<p>「キャンセル」をクリックすると、機器データのインポートをキャンセルします。 「登録」をクリックすると、当該機器データを CMS に登録します。</p>	

3.2.7.5.2. 機器データの削除

「削除」をクリックすると、CMS から機器データを削除します。

デフォルト指定	保存日時	データファイルタイプ名	ラベル	バージョン	備考	
<input type="checkbox"/>	2020-11-17 15:46:18	device1	nrx05-data	v999	latest	

以下の画面が表示されます。

選択した機器データを削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、当該機器データを CMS から削除します。

3.2.7.5.3. 機器データのデフォルト指定

「デフォルト指定」をチェックすると、当該機器データをデフォルト機器データとして設定します。

デフォルト指定	保存日時	データファイルタイプ名	ラベル	バージョン	備考	
<input checked="" type="checkbox"/>	2020-11-17 15:46:18	device1	nrx05-data	v999	latest	

以下の画面が表示されます。

機器データのデフォルト指定を選択しました。

OK

「デフォルト指定」のチェックを外すと、デフォルト指定を解除します。

デフォルト指定	保存日時	データファイルタイプ名	ラベル	バージョン	備考	
<input type="checkbox"/>	2020-11-17 15:46:18	device1	nrx05-data	v999	latest	

以下の画面が表示されます。

機器データのデフォルト指定を解除しました。

OK

3.2.7.6. 製品データ

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア 機器データ **製品データ** SYSLOG 監視情報 拡張情報

「製品データ」を選択すると、以下の画面が表示されます。
※ 製品データが未登録の場合は、「3.1.5 製品データ登録」を参照してください。

製品データ

デフォルト指定	データファイルタイプ名	ラベル	バージョン	備考
<input type="checkbox"/>	product1	nxrg110-data	v999	latest

キャンセル

3.2.7.6.1. 製品データのデフォルト指定

「デフォルト指定」をチェックすると、当該製品データをデフォルト製品データとして設定します。

デフォルト指定	データファイルタイプ名	ラベル	バージョン	備考
<input checked="" type="checkbox"/>	product1	nxrg110-data	v999	latest

以下の画面が表示されます。

製品データのデフォルト指定を選択しました。

OK

「デフォルト指定」のチェックを外すと、デフォルト指定を解除します。

デフォルト指定	データファイルタイプ名	ラベル	バージョン	備考
<input type="checkbox"/>	product1	nxrg110-data	v999	latest

以下の画面が表示されます。

製品データのデフォルト指定を解除しました。

OK

3.2.7.7. SYSLOG

「SYSLOG」を選択します。

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア 機器データ 製品データ **SYSLOG** 監視情報 拡張情報

以下の画面が表示されます。

※ 表示される SYSLOG は、管理対象機器の設定に準じます。

SYSLOGファイル一覧

ファイル	更新日時		
最新	2020-11-25 18:18:48	1	2
アーカイブ1	2020-11-18 18:32:53		

キャンセル

① 「表示」をクリックすると、当該 SYSLOG が表示されます。

SYSLOGファイル表示 (アーカイブ1)

```
Jul 30 13:50:01 nxr530 syslog-ng[2504]: Configuration reload request received, reloading configuration;
Jul 30 13:50:01 nxr530 syslog-rotate: Log cleanup completed.
Jul 30 13:50:01 nxr530 csv2client: get import config failed.
Jul 30 13:50:01 nxr530 scheduler: schedule 3 config copy failed : Cant import config
Jul 30 13:50:01 nxr530 csv2client: post syslog archived successful.
Jul 30 13:50:01 nxr530 syslog-rotate: Log backup to CMS success
Jul 30 13:50:01 nxr530 scheduler: schedule 4 executes config copy
Jul 30 13:55:01 nxr530 csv2client: get import config failed.
Jul 30 13:55:01 nxr530 scheduler: schedule 4 config copy failed : Cant import config
Jul 30 13:58:15 nxr530 csv2client: put information-basic successful.
Jul 30 14:05:01 nxr530 scheduler: schedule 1 executes system notify
Jul 30 14:05:02 nxr530 csv2client: put information-extra successful.
Jul 30 14:08:15 nxr530 csv2client: put information-basic successful.
Jul 30 14:18:15 nxr530 csv2client: put information-basic successful.
Jul 30 14:25:01 nxr530 scheduler: schedule 5 executes config copy
Jul 30 14:25:01 nxr530 csv2client: get import config failed.
Jul 30 14:25:01 nxr530 scheduler: schedule 5 config copy failed : Cant import config
Jul 30 14:28:15 nxr530 csv2client: put information-basic successful.
Jul 30 14:38:15 nxr530 csv2client: put information-basic successful.
Jul 30 14:40:01 nxr530 scheduler: schedule 10 executes syslog copy
Jul 30 14:40:01 nxr530 csv2client: put syslog latest successful.
Jul 30 14:45:01 nxr530 scheduler: schedule 2 executes config copy
Jul 30 14:45:01 nxr530 csv2client: get import config failed.
Jul 30 14:45:01 nxr530 scheduler: schedule 2 config copy failed : Cant import config
Jul 30 14:48:15 nxr530 csv2client: put information-basic successful.
```

キャンセル

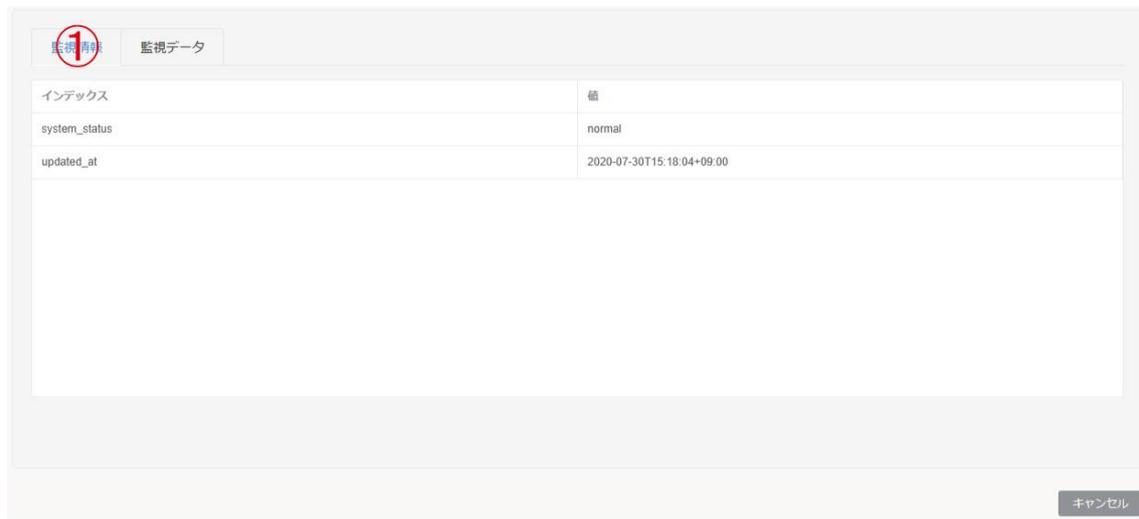
② 「ダウンロード」をクリックすると、当該 SYSLOG を PC にダウンロードすることが出来ます。

3.2.7.8. 監視情報

「監視情報」を選択します。



① 「監視情報」を選択すると、以下の画面が表示されます。



② 「監視データ」を選択すると、以下の画面が表示されます。



① 管理対象機器から取得した情報を、テキスト形式で表示します。

② 管理対象機器から取得した情報を、JSON形式で表示します。

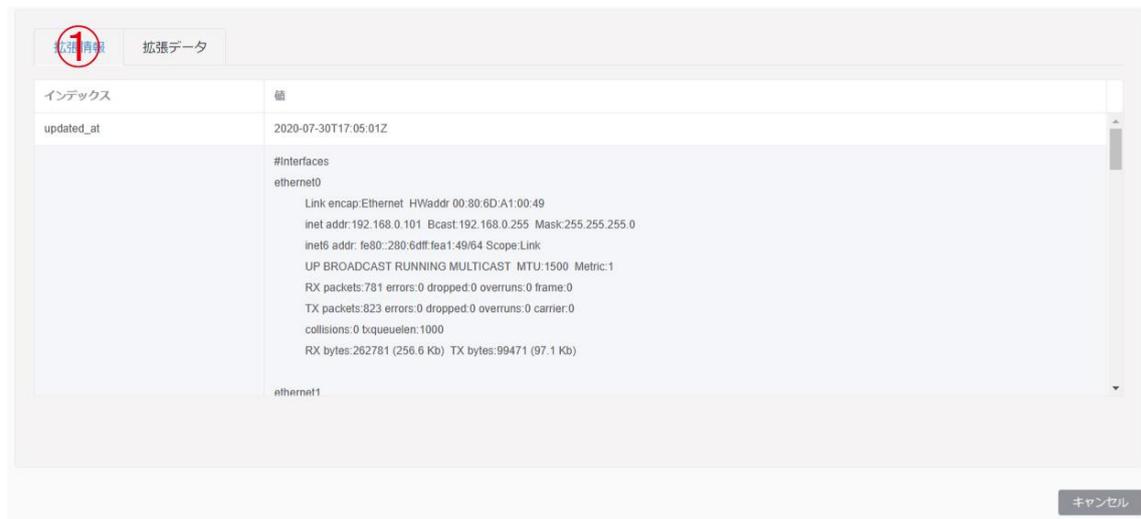
※ 取得可能な情報は、管理対象機器の設定に準じます。

3.2.7.9. 拡張情報

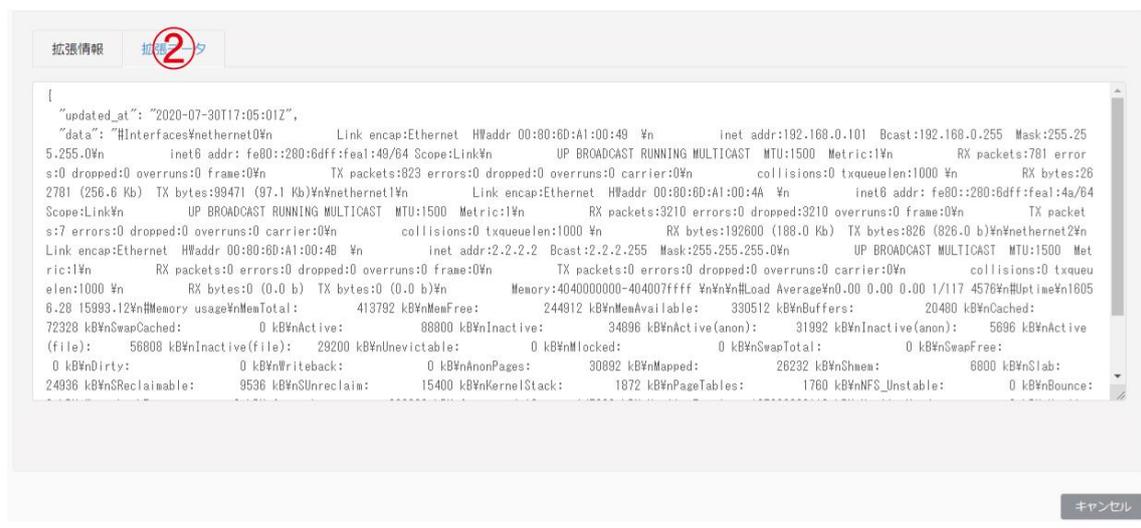
「拡張情報」を選択します。

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア 機器データ 製品データ SYSLOG 監視情報 **拡張情報**

① 「拡張情報」を選択すると、以下の画面が表示されます。



② 「拡張データ」を選択すると、以下の画面が表示されます。



① 管理対象機器から取得した情報を、テキスト形式で表示します。

② 管理対象機器から取得した情報を、JSON形式で表示します。

※ 取得可能な情報は、管理対象機器の設定に準じます。

3.3. ログ

メインタブで、「ログ」を選択します。



3.3.1. 検索

The screenshot shows a search interface for logs. At the top, there are several filter tabs: 日時, 分類, 実行元種別, 実行元コード, 対象種別, 対象コード, イベント, オプション. A '検索' (Search) button is circled in red. Below the tabs, a text box says: 「検索」をクリックすると、以下の画面が表示されます。 Below this is a modal window titled 'ログ検索条件' (Log Search Conditions) with a close button (X). The modal contains the following fields: 期間 (Period): A date range selector with a calendar icon, '開始' (Start), and '終了' (End) labels. アカウント名 (Account Name): A text input field. テナントコード (Tenant Code): A text input field containing 'century'. 機器コード (Device Code): A text input field. グループ名 (Group Name): A text input field. 順序 (Order): A dropdown menu set to '昇順' (Ascending). At the bottom right of the modal are two buttons: キャンセル (Cancel) and 検索 (Search).

「期間」：開始

カレンダーボタンを押して、開始日を指定します。
空欄の場合、開始は CMS 内の一番古いログです。

「期間」：終了

カレンダーボタンを押して、終了日を指定します。
空欄の場合、終了はCMS内の最新ログです。

「アカウント名」

操作または対象アカウント名を指定します。
空欄の場合、アカウント名による絞込みを行いません。
入力できる文字数は最大 16 文字です。

「テナントコード」

対象機器の機器コードを指定します。
空欄の場合、テナントコードによる絞込みを行いません。
入力できる文字数は最大 16 文字です。

「機器コード」

対象機器の機器コードを指定します。
空欄の場合、機器コードによる絞込みを行いません。
入力できる文字数は最大 16 文字です。

「グループ名」

対象グループのグループ名を指定します。
空欄の場合、グループ名による絞込みを行いません。
入力できる文字数は最大 32 文字です。

「順序」

検索結果の表示順序を選択します。

「昇順」の場合、古いログから 5000 件を表示します。

「降順」の場合、新しいログから 5000 件を表示します。

「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。

「検索」をクリックすると、上記の指定条件で検索を実行します。

※ 指定条件は、完全一致するように入力してください。

3.3.2. ダウンロード

								検索	ダウンロード
日時	分類	発行元種別	発行元コード	対象種別	対象コード	イベント	オプション		
「ダウンロード」をクリックすると、表示結果を CSV 形式でダウンロードすることができます。									

3.4. アカウント

メインタブで、「アカウント」を選択します。



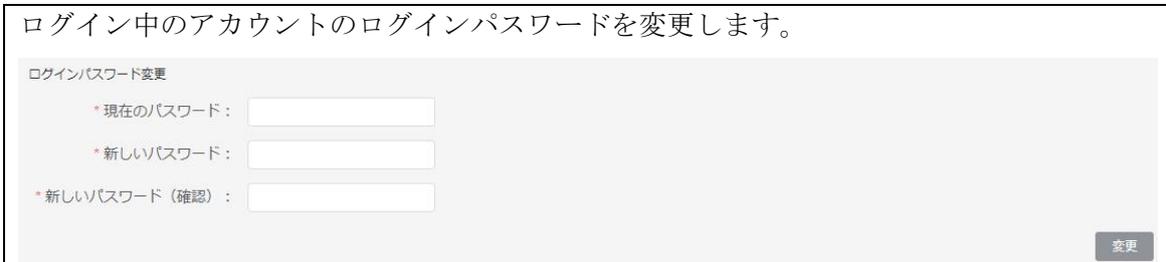
3.4.1. アカウント情報

ログイン中のアカウントのアカウント情報（アカウント名、テナント名、テナントコード）が表示されます。



3.4.2. ログインパスワード変更

ログイン中のアカウントのログインパスワードを変更します。



現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
新しいパスワード (確認)	確認のために、新しいパスワードを再度入力します。
「変更」をクリックすると、ログインパスワードを変更します。	

4. Appendix

4.1. サポートについて

- お客様サポート

お客様サポートでは、弊社製品をご購入されたお客様をサポートいたします。当製品の使用方法や、マニュアルの不明な点については、電話、電子メール、FAXにてお問い合わせください。詳しくは、下記 URL をご覧ください。

<https://www.centurysys.co.jp/support/>

- ダウンロード

本装置の最新ファームウェアや「設定例」等のドキュメントは、下記 URL からダウンロードすることが出来ます。

<https://www.centurysys.co.jp/downloads/>

機能追加や修正に伴い、ファームウェアを随時更新しています。できるだけ最新のファームウェアで、本装置を運用するようにしてください。

4.2. イベントログ一覧

本装置で定義されているイベントログの一覧です。

イベント	説明
機器追加	機器を CMS に登録した。
機器削除	機器登録を CMS から削除した。
HTTP アクセス正常	機器の HTTP アクセスが正しく行われている。
HTTP アクセス警告	機器の HTTP アクセスが正しく行われていない。
コンフィグ登録	機器のコンフィグを CMS に登録した。
コンフィグ削除	機器のコンフィグを CMS から削除した。
コンフィグ デフォルト指定選択	コンフィグのデフォルト指定を選択した。
コンフィグ デフォルト指定解除	コンフィグのデフォルト指定を解除した。
ファームウェアイメージ登録	機器ファームウェアイメージファイルを CMS に登録した。
ファームウェアイメージ削除	機器ファームウェアイメージファイルを CMS から削除した。
ファームウェア デフォルト指定選択	ファームウェアのデフォルト指定を選択した。
ファームウェア デフォルト指定解除	ファームウェアのデフォルト指定を解除した。
グループ追加	グループを追加した。
グループ削除	グループを削除した。
グループ参加	機器をグループに参加させた。
グループ離脱	機器をグループから離脱させた。
テナントデータ退避開始	テナントデータの退避を開始した。
テナントデータ退避完了	テナントデータの退避が完了した。
テナントデータ退避失敗	テナントデータの退避が失敗した。
テナントデータ復帰開始	テナントデータの復帰を開始した。
テナントデータ復帰完了	テナントデータの復帰が完了した。
テナントデータ復帰失敗	テナントデータの復帰が失敗した。
テナントデータインポート開始	テナントデータのインポートを開始した。
テナントデータインポート完了	テナントデータのインポートが完了した。
テナントデータインポート失敗	テナントデータのインポートが失敗した。
ログイン	アカウントが CMS にログインした。
ログアウト	アカウントが CMS からログアウトした。
ログアウト要求通知	CMS がアカウントに対して ログアウトを要求した。
無通信ログアウト	クライアント PC からの通信が一定時間途絶えたため、 対象ユーザをログアウトさせた。
スケジュール追加	スケジュールを追加した。
スケジュール削除	スケジュールを削除した。
スケジュール変更	スケジュールを変更した。
スケジュール動作を中止	スケジュール動作を中止した。
スケジュールによるデフォルト ファームウェア更新開始	スケジュールによる「ファームウェアデフォルト指定選 択」動作命令を開始した。
スケジュールによるデフォルト ファームウェア更新完了	スケジュールによる「ファームウェアデフォルト指定選 択」動作命令をすべて起動した。
スケジュールによる デフォルトコンフィグ更新開始	スケジュールによる「コンフィグデフォルト指定選択」 動作命令を開始した。

スケジュールによる デフォルトコンフィグ更新完了	スケジュールによる「コンフィグデフォルト指定選択」 動作命令をすべて起動した。
スケジュールによるデフォルト データファイル更新開始	スケジュールによる「データファイル デフォルト指定 選択」動作命令を開始した。
スケジュールによるデフォルト データファイル更新完了	スケジュールによる「データファイル デフォルト指定 選択」動作命令をすべて起動した。
製品名追加	製品名を追加した。
製品名削除	製品名を削除した。
製品名変更	製品名を変更した。
HTTP アクセス変更	HTTP アクセス設定を変更した。
HTTP 認証情報追加	HTTP 認証情報を追加した。
HTTP 認証情報削除	HTTP 認証情報を削除した。
メール送信失敗	メール送信が失敗した。
メール送信	メール送信が成功した。
データファイルタイプ追加	データファイルタイプを追加した。
データファイルタイプ削除	データファイルタイプを削除した。
データファイルタイプ変更	データファイルタイプを変更した。
製品データファイル登録	製品のデータファイルを CMS に登録した。
製品データファイル削除	製品のデータファイルを CMS から削除した。
機器データファイル登録	機器のデータファイルを CMS に登録した。
機器データファイル削除	機器のデータファイルを CMS から削除した。
データファイルデフォルト指定 選択	データファイルのデフォルト指定を選択した。
データファイルデフォルト指定 解除	データファイルのデフォルト指定を解除した。
イベントトリガー追加	イベントトリガーを追加した。
イベントトリガー削除	イベントトリガーを削除した。
イベントトリガー変更	イベントトリガーを変更した。
イベントアクション追加	イベントアクションを追加した。
イベントアクション削除	イベントアクションを削除した。
イベントアクション変更	イベントアクションを変更した。
イベント定義追加	イベント定義を追加した。
イベント定義削除	イベント定義を削除した。
イベント定義変更	イベント定義を変更した。

FutureNet CMS-1300 ユーザーズガイド(テナント編) Ver.2.1.0 対応版

2020年11月版

発行 センチュリー・システムズ株式会社

Copyright © 2020 Century Systems Co., Ltd. All rights reserved.